

11月度 例会 個人山行報告書		報告者	鈴木(芳)	参加メンバー	CL 館谷 SL 鈴木(記) 古(食料)
		報告日	11/6		
山域	南ハケ岳	山行日	2017/11/4~5		
山名	赤岳 硫黄岳				
山行目的	厳冬期登山の偵察			コースタイム	

配布先
集会: 12
山行: 1
リーダー
原紙: 集会担当者



11月4日	
SK駐車場	3:30
美濃戸口	6:50
赤岳山荘	7:50
行者小屋	10:25
テント設営	10:40
赤岳	12:40
地蔵の頭	13:20
行者小屋	14:10
就寝	20:00
11月5日	
起床	4:00
出発	5:30
赤岳鉱泉	6:10
硫黄岳	7:50
赤岳鉱泉	9:00
赤岳山荘	10:55
美濃戸口	11:30
風呂	12:00
山岳部部室	15:50
SK駐車場	16:30

〈山行報告〉

定刻通りにSK駐車場をCLが風邪気味ということで鈴木ドライブで出発。美濃戸口に駐車して山行開始。天気は曇りで山はガスっていて全く見えず(泣) 赤岳山荘まで林道を1時間歩き、南沢コースで行者小屋を目指す。行者小屋にてテント設営、テントに重荷を下ろし赤岳に文三郎尾根よりアタック。標高が高くなるにつれて風雪が強くなって寒くなってきた。山頂手前の竜頭峰ではCLより、冬合宿のコースの危険個所の説明等あり参考となった。



登山口



文三郎尾根(阿弥陀岳分岐)



竜頭峰

確認
(リーダー)



作成
(報告者)
鈴木

〈リーダー所見〉

この時期の高山は、雪があつたりなかったり岩が凍っていたりと、意外と侮れない。今回もアイゼンを着けるタイミングを見計らっているうちに、機を逃してしまいました。入山前から鼻水を垂らし、薄い手袋で手がかじかむCLを見て、2人は体調管理と装備の大切さを実感してくれたと思います。(反省)

赤岳山頂は、風が強く、雪が顔に激しく当たり痛かった。
 山頂に誰もいなかったの、岩にカメラを置いてセルフタイマーで撮影した。(ちょっと傾いてる…)
 全員ウエアーを**赤系**に統一(赤岳だから?w)
 寒いので気温が知りたかったが温度計がなくわからずじまだった。(推定-11℃)

赤岳山頂



配布先
 集会: 12
 山行: 1
 リーダー
 原紙: 集会担当者

下山は、地蔵尾根より下山。
 地蔵の頭までの下りが、雪が岩に微妙についており、非常に滑りやすく怖かった。
 急な鎖場では、後ろ向きに降りるが、フードをかぶっているの、足元がさっぱり見えず、鎖にしがみついて下った。
 雪の粒が、強風で目を直撃してきてとても痛くて、ゴーグルが必須だと思った。
 設置してある階段も、意外とあなどれなく、ステップもツルツル、手すりの表面も凍っていてツルツルで、自分は、滑って3段ほど落ちちた(お尻が痛かった)



行者小屋 テント場に帰ると雪化粧されていた。

寒いので小屋で一休み。
 軽く? 腹ごしらえ
 寒くてもビールは、美味しい(笑)



夕刻になり、夕食。
 暖かいベーコンクリームシチュー♪ 山の夜はふけて行った。



二日目の朝、晴天!!
 テントを撤収するが、フライシートについた水滴が凍って取れず後から面倒なことに…
 赤岳鉱泉にて荷物をデポして、硫黄岳に向かう。
 日差しが強いのでケア中の古さんw
 稜線に出ると素晴らしい展望が待っていた。



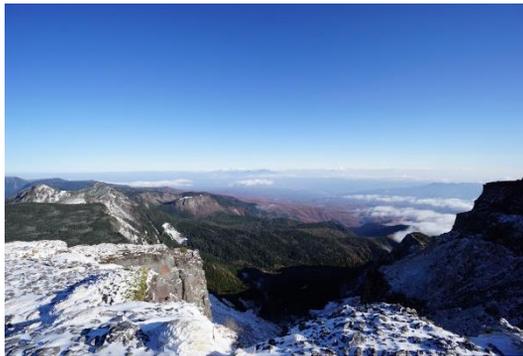
確認
 (リーダー)
 作成
 (報告者)



配布先
集会: 12
山行: 1
リーダー
原紙: 集会担当者



抜けるような青空と360度の展望、雲海……



良かった。

赤岳鉱泉に下り、地味な仕事があった…フライシートに凍りついた水滴の除去作業(20分)



さらに、下ると、紅葉がとても美しかった。



確認
(リーダー)

作成
(報告者)

所感

一日目は、寒さの厳しさを感じることができ、冬合宿での寒さ対策の重要性を認識できた。
二日目は、好天に恵まれ、美しい展望を満喫することができて、とても満足できた。